

感電は危険です、しっかり対策をしましょう

(1) 電化製品にアースを付ける：アースとは電気を地面に逃がすものです。

アースを電化製品につければ、漏電が起きても人体に大きな電気が流れることを防げます。ちなみに、洗濯機などの水回りで使用する電化製品はアースの取り付けが義務づけられています。



(2) プラグやコードの傷みに注意する：プラグやコードは絶縁されています

傷んだりするとそこから漏電することがあります。傷んだプラグやコードはすぐに交換するようにしましょう。

(3) 水に濡れた手で電気製品を触らない：水は電気抵抗が少なく電気を通しやすいのです。

濡れた手で電気製品を触らないようにしましょう。最近では、入浴中に充電中のスマートフォンを操作していて誤って浴槽に落とし、感電死したという海外の例も報告されています。大変危険なので、濡れた手で電化製品を触るべきではありません。



感電は身近なところでだれにでも起こります。条件によっては死に至ることもあり、甘く考えずに電気器具の取り扱いには十分注意しましょう。
万が一感電した場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

「電気管理技術者は、常時（24時間）対応しています、電気事故等の発生時は、すぐに連絡をお願い致します。」